

# 6年1組 道徳指導案

日時 令和元年 7月 2日 第5校時  
場所 小島小学校  
授業者

## 1 主題構成表

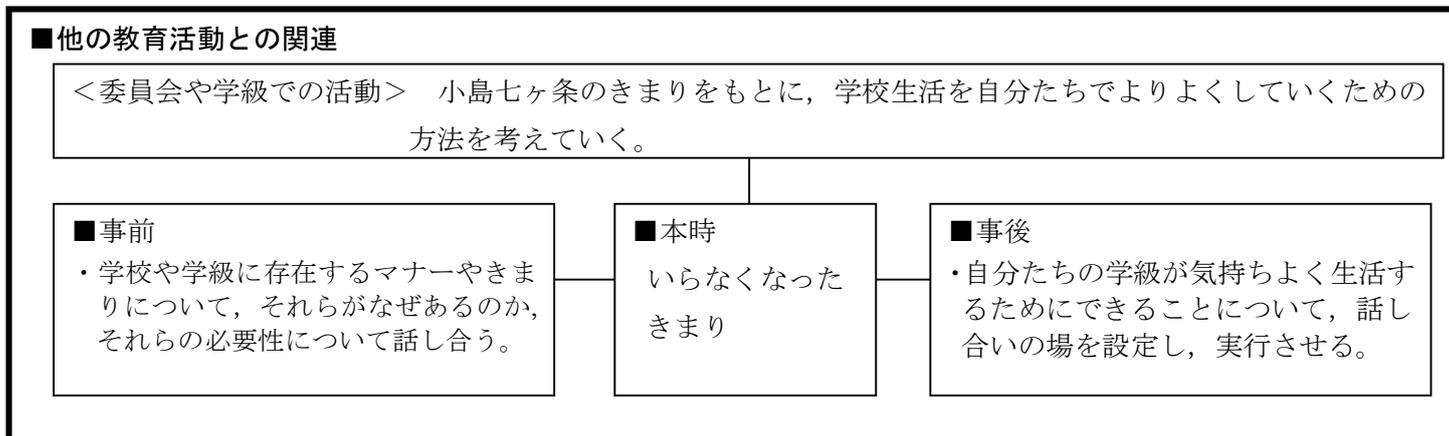
主題名 きまりの意義

資料名 いらなくなったきまり

<p>■内容項目 C</p> <p>規則の尊重</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「きまり」は、よりよい人間関係を築く上で必要なものであり、自他の権利を尊重するという目的がある。よって、その意義を理解するからこそ、進んできまりを守ろうという態度につながっていくのである。</li><li>・高学年では、単に「きまりがあるから守る」、「マナーを守らないからきまりをつくる」のではなく、集団が気持ちよく生活するために必要なことを自分で考え、実行していけるようになることが大切である。</li><li>・この時期の児童は、きまりの意義を理解していないと、大人が見ていないところではきまりを守らなくなってくる場合がある。また、委員会や学級で、自分たち自身できまりを考える機会も増える時期である。そこで、ただきまりをつくって守るのではなく、多くの人が気持ちよく生活するために、自分たちをどう律していくのかを考えさせたい。</li></ul>	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本資料は、自分たちがつくった学級文庫にさまざまな問題が起きたときにきまりをつくったり、守らない者には罰を与えたりしようとする様子が描かれている。クラスの問題が生じた際に、他者を批判しがちなこの段階の子どもにとって、身近な題材である。</li><li>・まず、しずかさんや道子さんが「かっこ悪い」「はずかしい」と思うのはなぜかを考えさせることを通して、きまりが何のためにあるのかに気付くことができる。</li><li>・最後に、「学級文庫にきまりがいらなくなったのはなぜか。」を考えさせることを通して、自分が所属する集団の生活をよりよくするためには、その願いを共有し、一人ひとりが自分たちの問題であると考え意識を高めることが大切であることに気付くことができる。</li></ul>
<p>■内容項目から見た児童の実態（意識）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ほとんどの児童が学校のきまりは必要であると考えており、きまりがないと、自分勝手に行動することが増え、自分を律することができなくなると考える児童が多い。</li><li>・きまりは守る必要があると考えている一方で、教師がいないところでは、きまりが守れなかったり、きまりが守れない原因を他の児童や他の事柄のせいにしてたりする児童もいる。</li></ul> <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・単に「きまりがあるから守る」というように、きまりの意義にまで考えが至っていない。また学校生活は、低学年から高学年まで、年齢差が大きい集団であることを考えず、自分本位できまりをとらえている。</li></ul>		

■ねらい

きまりというのは、自分が所属する集団の生活を、よりよいものにするためのものであることに気付き、きまりがいらなくなったわけを考えることを通して、一人ひとりが問題意識をもち、きまりを守ろうとする態度を育てる。



2 本時の展開例

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育観点
導入	<p>1 学校や学級のきまりについて話し合う。</p> <p>○学校や学級のきまりには、どんなものがありますか。またそのきまりは必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小島七ヶ条がある。</li> <li>・どれも学校をよりよくするためのきまりだから必要。</li> <li>・きまりがないと、みんなが自分勝手に行動してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や学級のきまりに対する子どもの捉えを整理する。</li> <li>・意図的指名をし、価値の方向付けを行う。</li> </ul>
展開前段	<p>2 資料を読み、クラスみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて話し合う。</p> <p>○道子さんのクラスの「学級文庫の使い方」について、どうしたらよいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手な人がいるから、借りた人が分かるようにカードに書くようにした方がいい。</li> <li>・自分の大事な本が破られるのは嫌だから、そもそも学級文庫をやめた方がいい。</li> <li>・ルールを決めないとマナーが守れないのは、はずかしい。</li> </ul> <p>○しずかさんや道子さんは、一体何がはずかしいのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを守らない、自分勝手な人が多すぎるから。</li> <li>・自分たちで学級文庫を作ることにしたのに、すぐに問題が出てきてしまうことがはずかしい。</li> <li>・ルールがないと、人のものを大事に使えないことがはずかしい。</li> </ul> <p>○学級文庫にきまりがいらなくなったのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明子さんや道子さんが、本をそろえているのを見て、自分もそろえようと思うようになったから。</li> <li>・みんなが、自分たちで何とかしないとだめだと気付いたから。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問</p> <p>○学級文庫の使い方について、きまりがないことには変わりが無いのに、話し合う前と話し合った後では、何が違うのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは、自分勝手に考えていたけど、今は、みんなが自分たち一人ひとりの問題だと考えるようになった。</li> <li>・みんなが気持ちよく生活するためには、それぞれが、自分にできることをやろうと意識するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読の際に、自分ならどう思うかを考えながら聞くよう指示する。</li> <li>・学級文庫の使い方について話し合うことになった経緯を確認しておく。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分たちで学級文庫を作ることにした。</li> <li>② 使い方が悪くて不満が出始めた。</li> </ol> </li> <li>・「学級文庫の使い方」について、ワークシートに記入することで、自分の考えをもたせる。</li> <li>・グループ交流を行うことで、「守れないのなら、ルールは必要」、「問題が起きたら、すぐにルールやきまりをつくるというのは恥ずかしい」など、多面的な考え方に気付かせる。</li> <li>・規則の追加や罰則の強化、自主性の必要性など、内容ごとに整理して板書する。</li> <li>・自分の行動を自分で律することができない、ということに対してのはずかしさであることを押さえる。</li> <li>・一人ひとりが、自分のたちの問題であると考える意識を高めることが大切であることを押さえる。</li> </ul> <p>*授業の展開前段において、きまりがいらなくなった理由を問う。このことにより、集団が気持ちよく生活するためには、一人ひとりがきまりやマナーを守ろうという意識を高めることが大切であることに気付かせたい。そのことによって、生活を振り返り、自己の心の中にある偏見や差別的なものの見方や考え方を改めようとする力を身に付けさせたい。</p> <p style="text-align: right;">(自己啓発力)</p>
展開後段	<p>3 自己を見つめ、振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して、考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や学級をよくするために、自分たちが守ろう、良くしていこうという気持ちをもつことが大切。</li> <li>・学校や学級をよくしていこうと、みんなが同じ気持ちになることが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を通して、クラスみんなが、気持ちよく生活するために大切なことについて、考えたことをまとめるよう指示する。</li> </ul>
終末	○気持ちの変容がみられる児童を取り上げ、その思いを尋ねる。	